

若者が考える「日中の未来」Vol.6

日本の若年層を中心とする —学生懸賞論文集—

対中世論改善の可能性

若者が考える「日中の未来」シリーズ第六弾！
2019年の第8回「宮本賞」(日中学生懸賞論文)の
受賞作14本を全文掲載。

日中の若者がいま何を考えているか？

2019年に日本日中関係学会が募集した第8回宮本賞(日中学生懸賞論文)では、「学部生の部」に54本、「大学院生の部」に33本、合計87本の応募がありました。本書では、受賞論文14本を全文掲載し、皆様にお送りします。

今回の授賞論文では、ゴミ処理や定年制、食卓マナーなど日本の優れた制度や習慣を中国が取り入れることによって、中国自身変わっていかねばならないという一方で、中国が先行している民泊ビジネスなどの分野では、日本が中国から学ぶべき点もある、という新たな論点も登場してきました。

いずれの論文にも、若者らしい斬新な切り口と興味深い分析が溢れており、これから日中関係を発展させていくうえで、貴重なヒント、手掛かりを提供してくれるものと確信しております。

本書掲載 第8回宮本賞 受賞者一覧

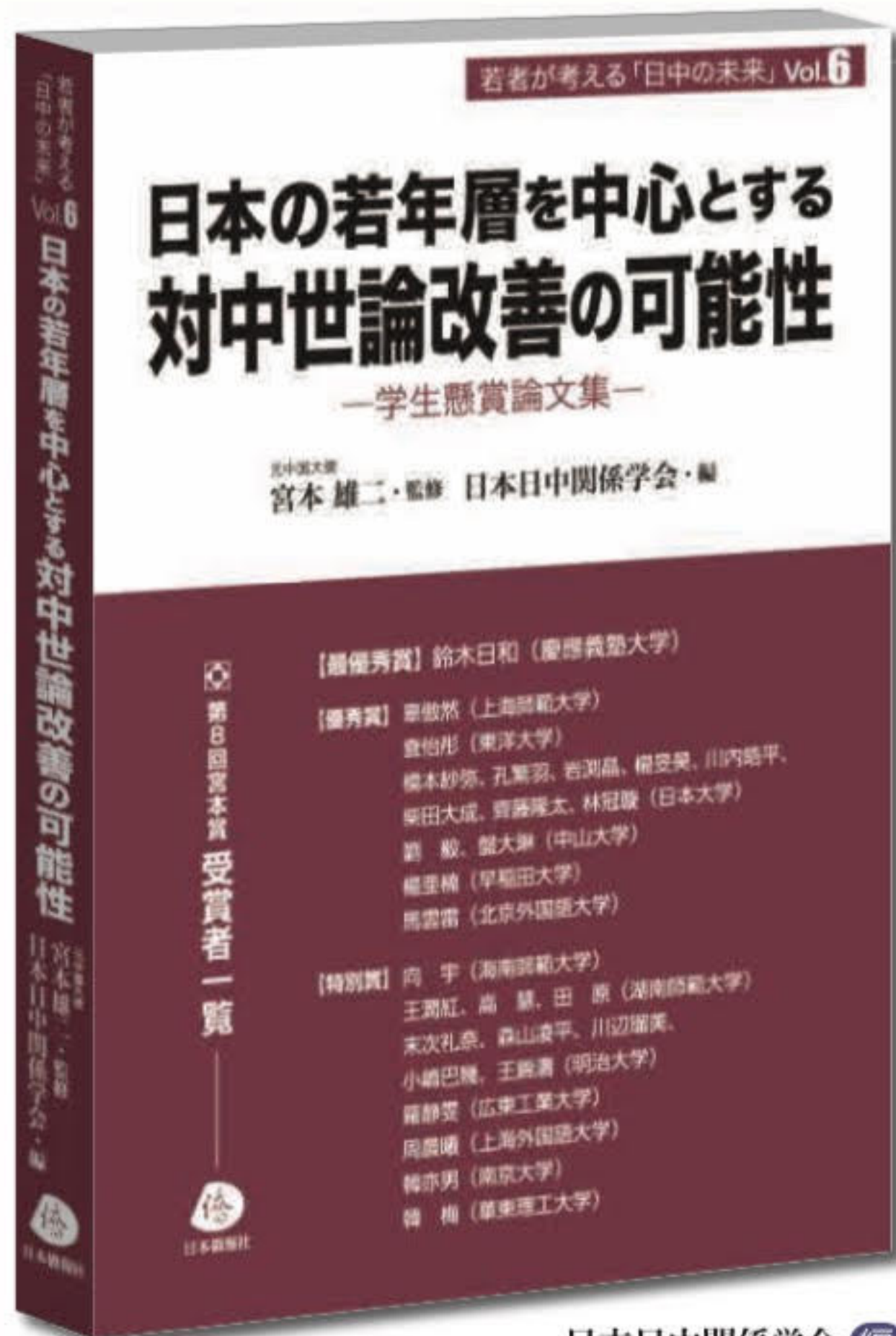
【最優秀賞】 鈴木日和 (慶應義塾大学)

【優秀賞】 辜傲然 (上海師範大学)、查怡彤 (東洋大学)、橋本紗弥、孔繁羽、岩淵晶、楊旻昊、川内皓平、柴田大成、齊藤隆太、林冠璇 (日本大学)、劉毅、盤大琳 (中山大学)、楊亞楠 (早稲田大学)、馬雲雷 (北京外国語大学)

【特別賞】 向宇 (海南師範大学)、王潤紅、高慧、田原 (湖南師範大学)、末次礼奈、森山凌平、川辺瑠美、小嶋巴幾、王錦濤 (明治大学)、羅静雯 (広東工業大学)、周晨曦 (上海外国語大学)、韓亦男 (南京大学)、韓梅 (華東理工大学)

シリーズ好評発売中！

- 第一弾 『日中間の多面的な相互理解を求めて』
- 第二弾 『日中経済交流の次世代構想』
- 第三弾 『日中外交関係の改善における環境協力の役割』
- 第四弾 『日中経済とシェアリングエコノミー』
- 第五弾 『中国における日本文化の流行』



日本日中関係学会 編

元中国大使 宮本 雄二 監修

1969年外務省入省。以降3度にわたりアジア局中国課に籍を置くとともに、北京の在中華人民共和国日本国大使館駐在は3回を数える。90年から91年には中国課長を、2006年から10年まで特命全権大使を務める。このほか、85年から87年には軍縮課長、94年にはアトランタ総領事、01年には軍備管理・科学審議官、02年には駐ミャンマー特命全権大使、04年には沖縄担当大使を歴任。現在は宮本アジア研究所代表、日中友好会館会長代行、日本日中関係学会会長。著書に『これから、中国とどう付き合うか』(日本経済新聞出版社)、『激変ミャンマーを読み解く』(東京書籍)、『習近平の中国』(新潮新書)、『強硬外交を反省する中国』(PHP新書) 中国における日本文化の流行。

ご注文は、全国の書店、アマゾンなどをご利用いただけます。トーハン 日販 その他 取次コード：5752

 <p>日本の若年層を中心とする 対中世論改善の可能性</p> <p>ISBN 978-4-86185-295-4 発行日：2020年4月30日 A5判208頁 並製 定価：本体3000円+税</p>	<p>注文部数</p> <p>部 (送料無料)</p>	<p>ご注文 / 番線印</p> <p>注文部数、住所 〒、氏名、電話番号をご記入ください</p>
	<p>送信 FAX 03-5956-2809</p>	